

復活徹夜祭

ルカ 24・1-12

2022.4.16

カトリック高円寺教会
主任司祭 吉池好高神父

これから、今日洗礼のお恵みに与る方々の洗礼式があります。

その前に、今日わたしたちがお祝いしている主イエス・キリストの復活の典礼の中でその洗礼式が行われることに心を留めていただきたいと思います。最初に聖堂の入口で新しい火が熾されて、その火は、すべてのいのちの源である神様がわたしたちの中に入れてくださった燃える火です。そこから受けた炎によって、復活の主イエス・キリスト様を表す復活の大きなろうそくに火が灯されました。

今日いただく洗礼のお恵みは、神様のいのちの火が皆さんの中に燃え上がるように、その火から灯される皆さんの洗礼のろうそくが表す神様のいのちの光が、皆様を通して多くの人々に喜びを、本当の明るさをもたらしますように。

今、この季節、農場の果樹園では果樹の接ぎ木の作業が行われているようです。お父様、お母様を通していただいた神様のいのちが、今日いただく洗礼の恵みによって、そこに新しい神様の本当のいのちが接ぎ木されます。そして、その木は一本だけでなく、イエス様がお話になられたように、あなたがたはぶどうの木だ。木の枝が幹につながっていなければ、枝だけでは実を結ぶことができない（ヨハネ 15・5）、そのようにイエス様はおっしゃいました。遡って、旧約聖書の預言者たちが語ったぶどうの木は、神様の民の全体を表します（イザヤ 5・4、エレミヤ 2・21）。一本一本のわたしたちの信仰のいのちは、神様のいのちである幹につながると同時に、お互い同士、枝と枝がつながって、一つの神様の民のいのちをわたしたちにもたらしてください。

その果実の実りをみんなの人に分かち合って、今年も良い実ができた、そのように皆の人が喜んでくださるように、今日、神様のお恵みをたくさんいただいてください。神様がわたしにこんないのちの賜物を、いのちの贈り物をくださったんだ、そのようないのちをこれからも大切に生きていけますように、洗礼のお恵みの中で、改めて神様に約束いたしましょう。

神様、あなたがわたしたちの中に与えてくださったこのいのちを、お互いに大切に生きて行けますように、あなたへの感謝がわたしたちのいのちから耀き出て、周りの人々を照らす明るい光になっていきますように、そのような恵みを願って、これからどうぞ待ちに待った洗礼のお恵みをいただいでください。